

民族薬物研究センター

Research Center for Ethnomedicine

国際共同研究分野

Division of International Cooperative Research

准教授 梅寄 雅人 Masahito Umezaki

◆ 原 著

- 1) Ono S, Murai J, Nakai T, Kuroda H, Horino Y, Yoshimura T, Oyama H, Tada-Umezaki M. Site-selective Chemical Modification of Chymotrypsin Using a Peptidyl Diphenyl 1-Amino-2-phenylethylphosphonate Derivative. *Chem Lett.* 2013;42(8):860-2.
- 2) Ono S, Murai J, Furuta S, Doike K, Manzaki F, Yoshimura T, Kuroda H, Umezaki M, Oyama H. Covalent chromatography for chymotrypsin-like proteases using a diphenyl 1-amino-2-phenylethylphosphonate derivative. *J Biol Macromol.* 2013;13(3):78-85.

◆ 学会報告

- 1) 中居孝彦, 沢井裕佑, 井上大輔, 畔田博文, 尾山 廣, 堀野良和, 梅寄雅人, 小野 慎. ジフェニルホスホネート誘導体によるキモトリプシンの失活および再活性化における立体化学的效果. 日本化学会第93回春季年会; 2013 Mar 22-25; 草津.
- 2) 小野 慎, 沢井裕佑, 梅寄雅人, 中居孝彦, 尾山 廣. 不可逆性阻害剤を利用するキモトリプシンの活性部位周辺に存在する Lys175 を選択的に修飾する分子の設計. 日本化学会第93回春季年会; 2013 Mar 22-25; 草津.
- 3) 鈴木 哲, 梅寄雅人, 錦織広昌. 半経験的電子状態計算による光合成初期過程へのアプローチ 紅色光合成細菌におけるスペシャルペアの構造最適化計算と電子励起遷移の考察. 日本化学会第93回春季年会; 2013 Mar 22-25; 草津.
- 4) 鈴木 哲, 錦織広昌, 梅寄雅人, 小野 慎. 半経験的電子状態計算に基づく光合成初期過程へのアプローチ シアノバクテリアにおける PS II 型反応中心の構造最適化計算と励起遷移の考察. 第4回日本光合成学会年会; 2013 May 31-Jun 1; 名古屋.
- 5) 鈴木 哲, 錦織広昌, 梅寄雅人, 小野 慎. 半経験的電子状態計算に基づく光合成初期過程へのアプローチ シアノバクテリアにおける PS I 型反応中心の構造最適化計算と励起遷移の考察. 2013 光化学討論会; 2013 May 11-13; 愛媛.
- 6) 小野 慎, 中居孝彦, 畔田博文, 堀野良和, 尾山 廣, 梅寄雅人. キモトリプシンの部位選択的修飾と機能設計. 第7回バイオ関連化学シンポジウム; 2013 Sep 27-2; 名古屋.
- 7) 鈴木 哲, 梅寄雅人, 沢井裕佑, 小野 慎, 錦織広昌. 光合成初期過程への超分子化学からのアプローチ シアノバクテリアにおける PS II 反応中心の励起遷移の考察. 日本コンピュータ化学会 2013 秋季年会; 2013 Oct 20-22; 福岡.
- 8) 小野 慎, 中居孝彦, 堀野良和, 畔田博文, 尾山 廣, 梅寄雅人. ジフェニルホスホネート誘導体によるキモトリプシンの部位選択的修飾と機能設計. 第62回高分子学会北陸支部研究発表会; 2013 Nov 16-17; 新潟.
- 9) 梅寄雅人, 佐久間勉, 沢井裕佑. リン酸化を介した PPAR の活性調節に関する分子動力的解析. 第62回高分子学会北陸支部研究発表会; 2013 Nov 16-17; 新潟.

◆ その他

- 1) 梅寄雅人. ドッキングシミュレーションによる酵素化学修飾分子のデザイン. *Peptide News Letter Japan.* 2013 Apr.